

可児高発議第1号

可児市における若者の探究活動支援に関する意見書

私たちエンリッチコアメンバーは、長年、可児市役所や可児市議会と連携し地域課題の解決に取り組んできた実績があります。可児高校の生徒が主体的に探究活動に取り組むことで、可児市の特性を活かした新しいアイデアが生まれ、地域への関心と愛着が高まってきたことを実感しています。

一方で、都市部への人口流出が課題となる中、将来の可児市を支える人材の確保は最優先課題と言えます。この課題解決のため以下の点について考えました。

各高校での取り組みや学生一人一人の探究活動の成果を活かすため、各学校の学生間や行政など、より広く連携をとることが若い世代のアイデアを具体的な施策につなげるシステムづくりの第一歩になるのではないのでしょうか。

現状では、市内や近隣の異なる高校の生徒がつながり協働する機会がほとんどありません。また、地域探究をスタートする際、どのような団体・事業者と連携したらよいのかを模索するところから始まります。学生が活発に探究活動ができるような行政のサポート体制があれば、子育て世代も地域の教育体制に魅力を感じることができ、他地域からの移住促進などにも繋がるのではないかと考えます。

学生や若者の探究活動を支援する組織を設ければ、若い世代の地域への関心や愛着が高まり、卒業後も可児市を支える人材の輩出が期待できます。若い世代の可能性を引き出し、住民満足度の高いまちづくりを実現するためにも、一緒にアクションを起こしていただければ心強いです。

以上のことから下記の一点について提案します。

記

- 1 可児市役所内に若者の探究支援部を創設すること。

【探究支援部についての詳細】

目的：学生、若者の探究活動や地域課題解決への取り組みを官民一体で支援することで、可児市の可能性を最大限に引き出す。

役割：情報収集、情報発信。課題解決に関する人的ネットワークのハブ役。活動拠点の提供、助言、コーディネート。

体制：市役所内に常設の事務局設置を希望する。運営は高校、大学、企業、NPOなどから協力者を募る。

令和6年3月22日

岐阜県立可児高等学校
2年 玉利 心晴

可児市議会議長 澤野 伸 様